
2019年7月期 第2四半期決算説明会

包装システムのトータルプランナー

ゼネラルパッカー株式会社



証券コード: 6267

目次

- I. セグメントと事業環境
- II. 2019年7月期第2四半期決算概況
- III. 2019年7月期通期業績見通し
- IV. 中期経営計画ならびに
経営戦略の主な取組み状況
- V. 参考資料

セグメント別事業概要

包装機械

主要品目

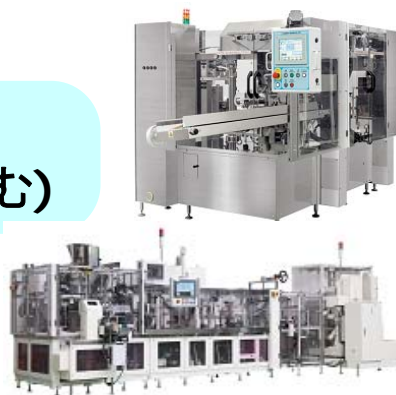
包装機から包装システムまで

・袋詰用包装機

給袋自動包装機
(ガス充填自動包装機含む)

製袋自動包装機

・包装関連機器等



生産機械

主要品目

機器からプラントまで

・製菓機械

チョコレート製造機械



オサ機械

2016/9月子会社化

(7月決算)

2016/3月設立

ゼネラルパッカー

(7月決算)

蘇州日技通用包装機械(中国)

ロボット応用システムの仕入

その他関係会社; FAMS(安川電機子会社)

(※2018年8月1日付 ワイ・イー・データからの会社分割により、資本業務提携及び商品取引等の関係は、FAMSへ承継されました)



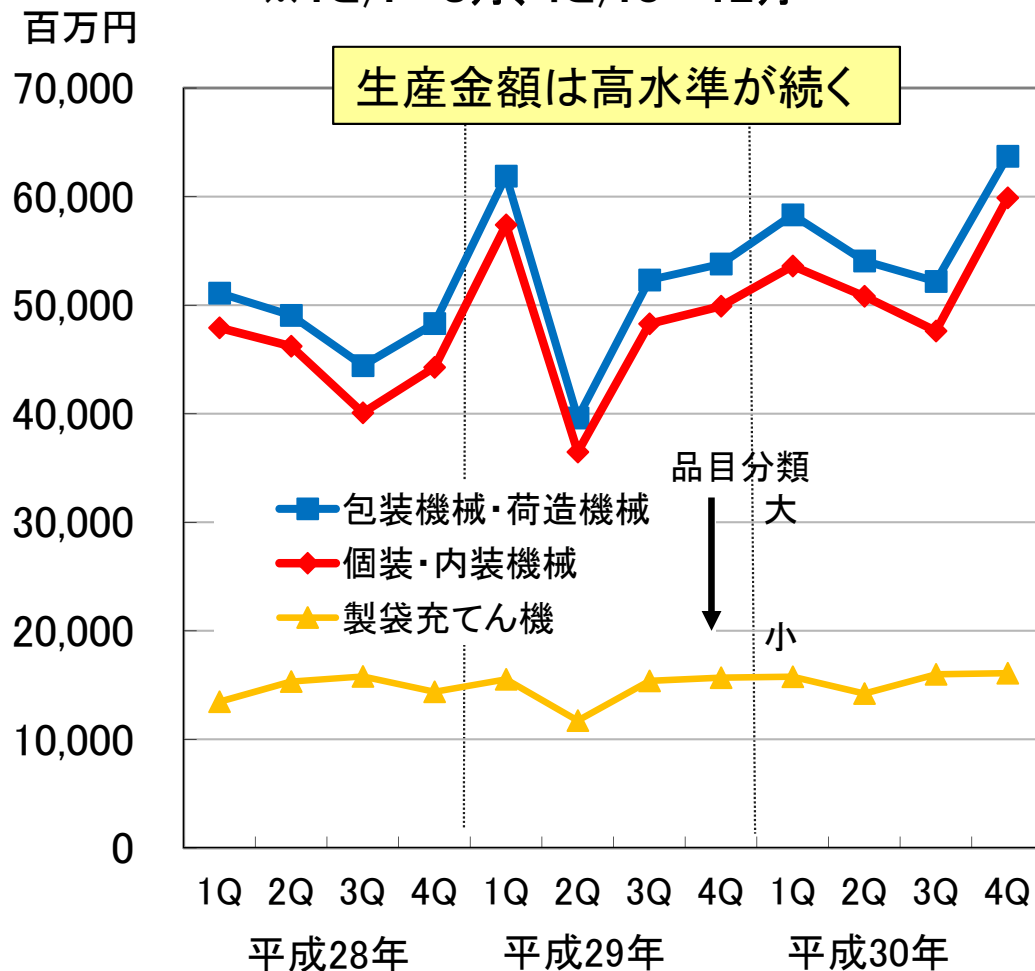
<事業内容>

野菜自動生産システム、食品自動化装置

事業環境 - 包装機械

経産省 生産動態統計より、当社作成
「包装機械及び荷造機械の生産金額推移」
(平成28年1Q～平成30年4Q)

※1Q;1～3月、4Q;10～12月



<包装機械業界>

- 国内の包装機械需要は好調に推移
- 輸出は、北米地域向けが好調に推移

平成30年計	生産金額
全体	前年比10.0%増
個装・内装機械	前年比10.4%増
製袋充てん機	前年比 6.4%増

当社の主要対象市場

<当社の動向>

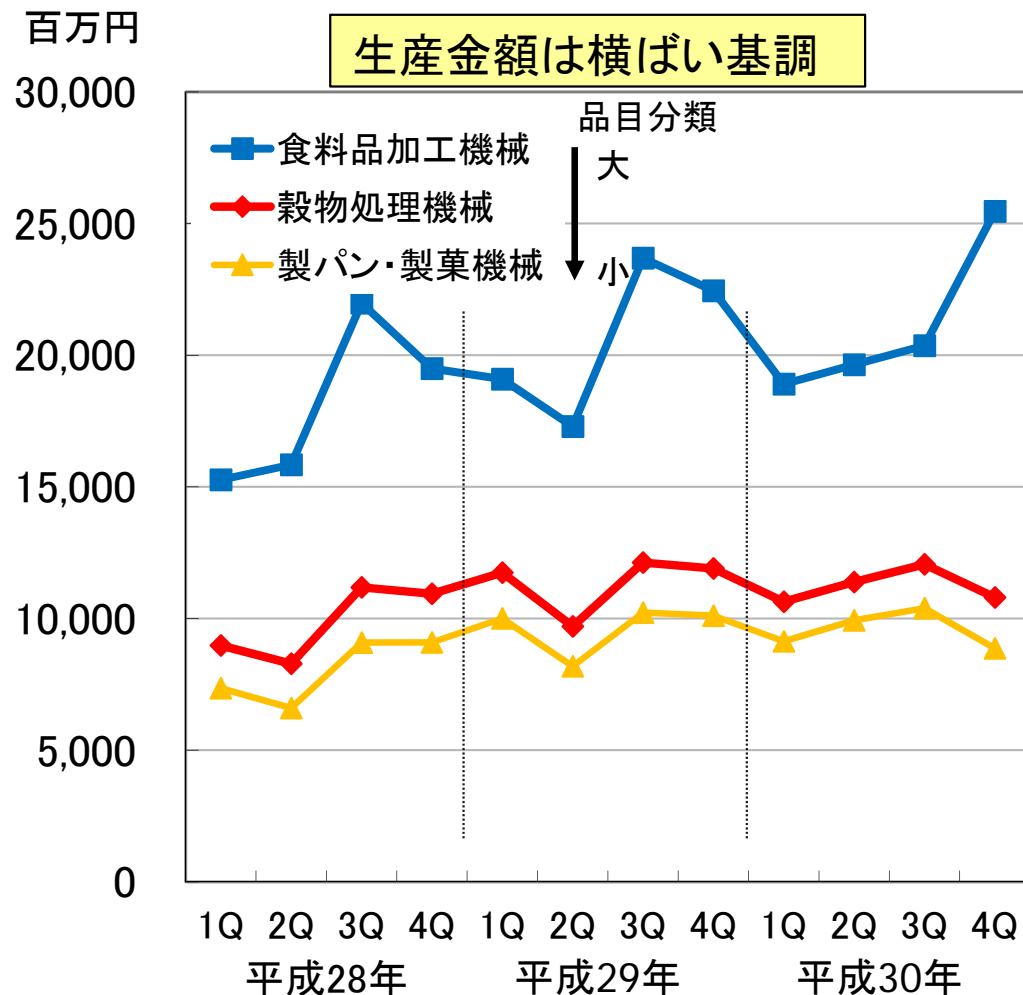
- 国内市場では、食品業界向けが好調に推移し、上期機械受注高は、前年同期を上回る。
- 海外市場では、大型案件(1億円以上)の受注実績が減少したことにより、上期機械受注高は、前年同期を下回る。

下期見通し
国内市場は好調を継続
海外市場は需要拡大を見込む

事業環境－食品機械

経産省 生産動態統計より、当社作成
「食料品加工機械の生産金額推移」
(平成28年1Q～平成30年4Q)

※1Q;1～3月、4Q;10～12月



＜食品機械業界＞

- 国内の食品機械需要は堅調に推移
- 輸出は、アジア地域向けが回復基調で推移

平成30年計	生産金額
全体	前年比2.2%増
穀物処理機械	前年比1.3%減
製パン・製菓機械	前年比0.5%減

当社子会社の主要対象市場

＜当社子会社の動向＞

チョコレート製造機械の専門メーカー

- 前年と比べて、設備投資需要が小型化。

下期見通し

複数の大型プラント需要を取り込む予定

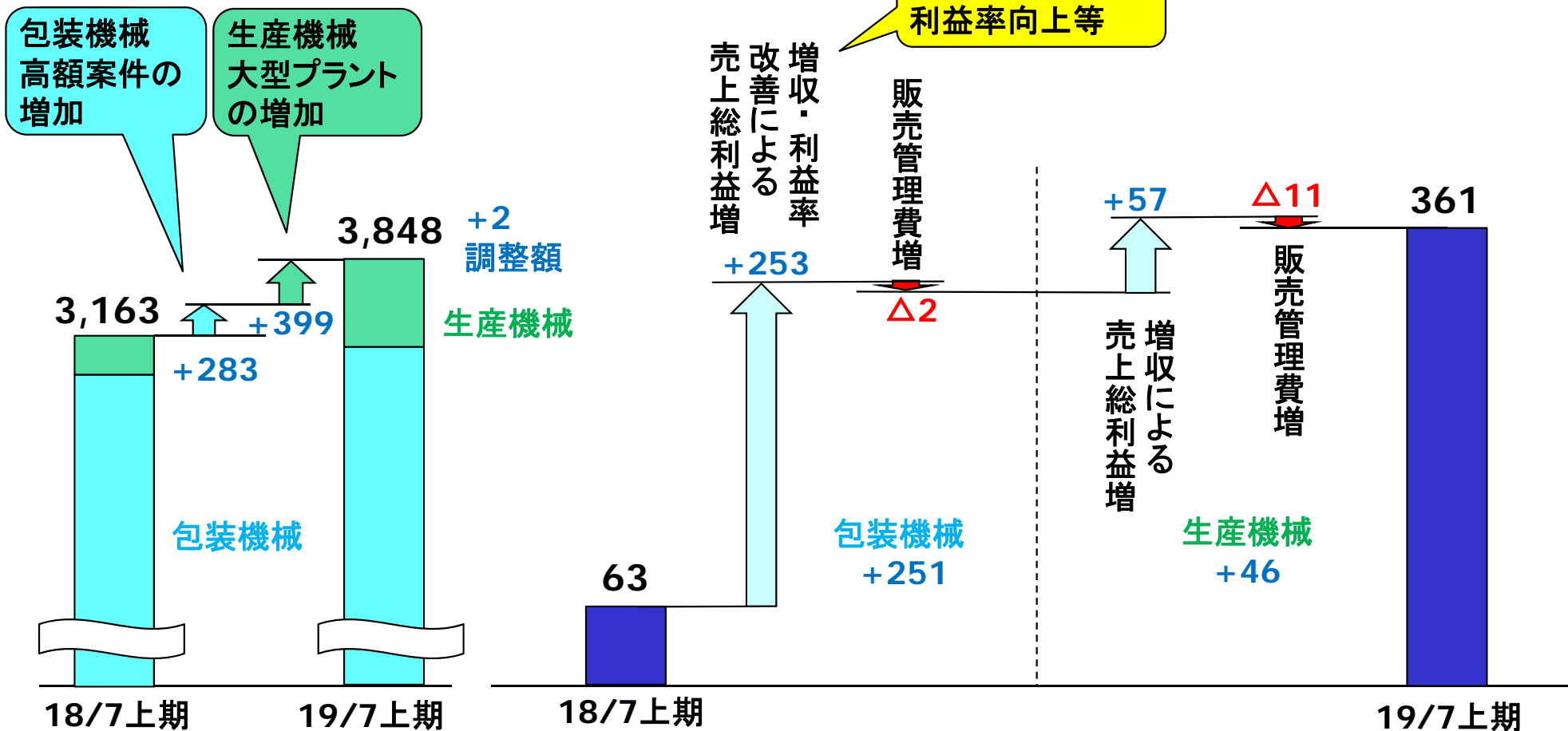
II. 2019年7月期 第2四半期決算概況

2019年7月期 第2四半期決算のポイント

売上高
685百万円の増収

営業利益増減要因(前年同期比) 297百万円の増益

(単位:百万円)



業績予想比; 48百万円増収、91百万円増益

2019年7月期第2四半期累計 連結決算概要

(単位: 百万円、%)

	2018年7月期 2Q累計		2019年7月期 2Q累計		前年同期比		2019年7月期 2Q累計計画		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率	金額	計画比	率
売上高	3,163	100.0	3,848	100.0	+685	+21.7	3,800	+48	+1.3
売上総利益	721	22.8	1,032	26.8	+311	+43.1	998	+34	+3.4
営業利益	63	2.0	361	9.4	+297	+471.5	269	+91	+33.9
経常利益	66	2.1	363	9.4	+297	+450.2	270	+93	+34.5
四半期純利益	46	1.5	251	6.5	+205	+440.7	185	+66	+36.1

前年同期比: 増収・増益

- 売上総利益は、増収により、前年同期比311百万円増加。
売上総利益率は、包装機械の利益率改善により、前年同期から向上。
- 営業利益率は、前年同期比7.4ポイント上昇し9.4%。
- 経常利益は、計画を上回り、前年同期比297百万円増益。
- 四半期純利益は、計画を上回り、前年同期比205百万円増益。

セグメント別業績概要

(単位:百万円、%)

	2018年7月期 2Q累計		2019年7月期 2Q累計		前年同期比		2019年7月期 2Q累計計画		
	金額	利益率	金額	利益率	金額	率	金額	計画比	率
売上高	3,163		3,848		+685	+21.7	3,800	+48	+1.3
包装機械	2,734		3,017		+283	+10.4	3,200	△182	△5.7
生産機械	431		831		+399	+92.7	600	+231	+38.5
※ 調整額	△2		—		+2	—	—	—	—
営業利益	63	2.0	361	9.4	+297	+471.5	269	+91	+33.9
包装機械	59	2.2	310	10.3	+251	+421.3	226	+83	+36.9
生産機械	3	0.8	50	6.0	+46	—	42	+7	+17.9
調整額	0	—	0	—	—	—	—		

※ セグメント間の内部売上高の調整。

【包装機械】 増収・増益、利益率の大幅な向上。計画に対して減収・増益

【生産機械】 増収・増益、無形固定資産(のれん・技術資産等)の償却にて、利益率6.0%。

計画に対して増収・増益

【営業利益 調整額】 セグメント間取引の消去 2018年7月期 2Q累計;313千円
2019年7月期 2Q累計;300千円

セグメント別売上内訳

(単位:百万円、%)

	2018年7月期 2Q累計	2019年7月期 2Q累計	前年同期比増減		2019年7月期 2Q累計計画
			金額	率	
包装機械	2,734	3,017	+283	+10.4	3,200
給袋自動包装機	1,570	1,865	+294	+18.8	1,878
製袋自動包装機	0	225	+225	—	375
包装関連機器等	556	320	△235	△42.4	317
保守消耗部品その他	607	605	△2	△0.3	630
生産機械	431	831	+399	+92.7	600
製菓機械	357	756	+398	+11.4	530
保守消耗部品その他	73	74	+1	+1.4	70
合計	※ 3,163	3,848	+685	+21.7	3,800

※ 合計は、セグメント間の内部売上高の調整後。

【包装機械】

◇高価格機種の実績が増加、大型案件の下期への繰越しにより計画比減収

【生産機械】

◇大型プラントの実績が増加、高額案件の前倒し実績等により計画比増収

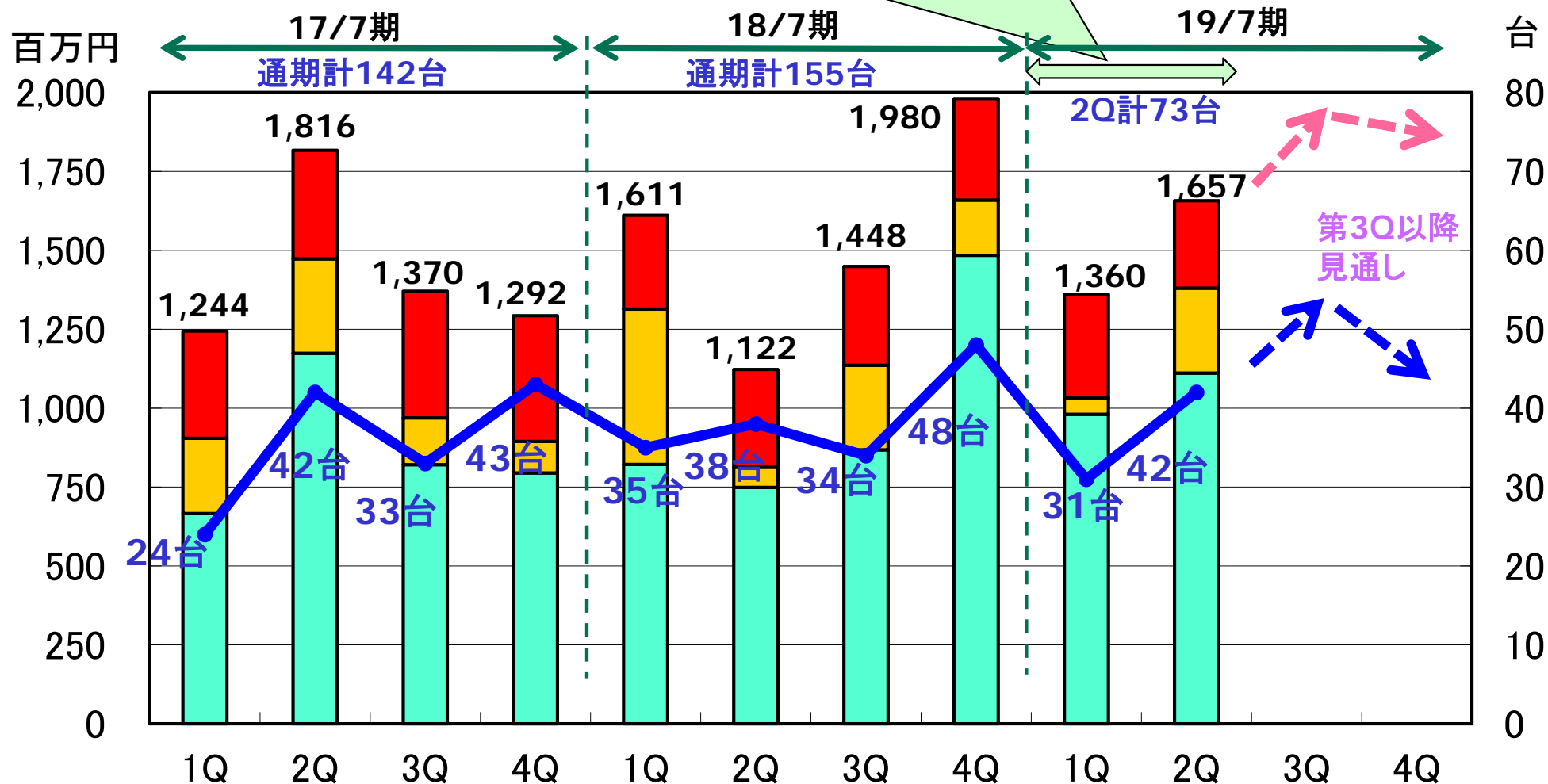
【包装機械】 四半期売上高推移

第2四半期累計実績

自社機販売台数 前年同期比±0台

自社機売上高 前年同期比+520百万円

※(給袋自動包装機<ガス充填自動包装機含む>、製袋自動包装機の合計)



大型案件の有無、高額機種の販売台数により、
四半期売上高は大きく変動

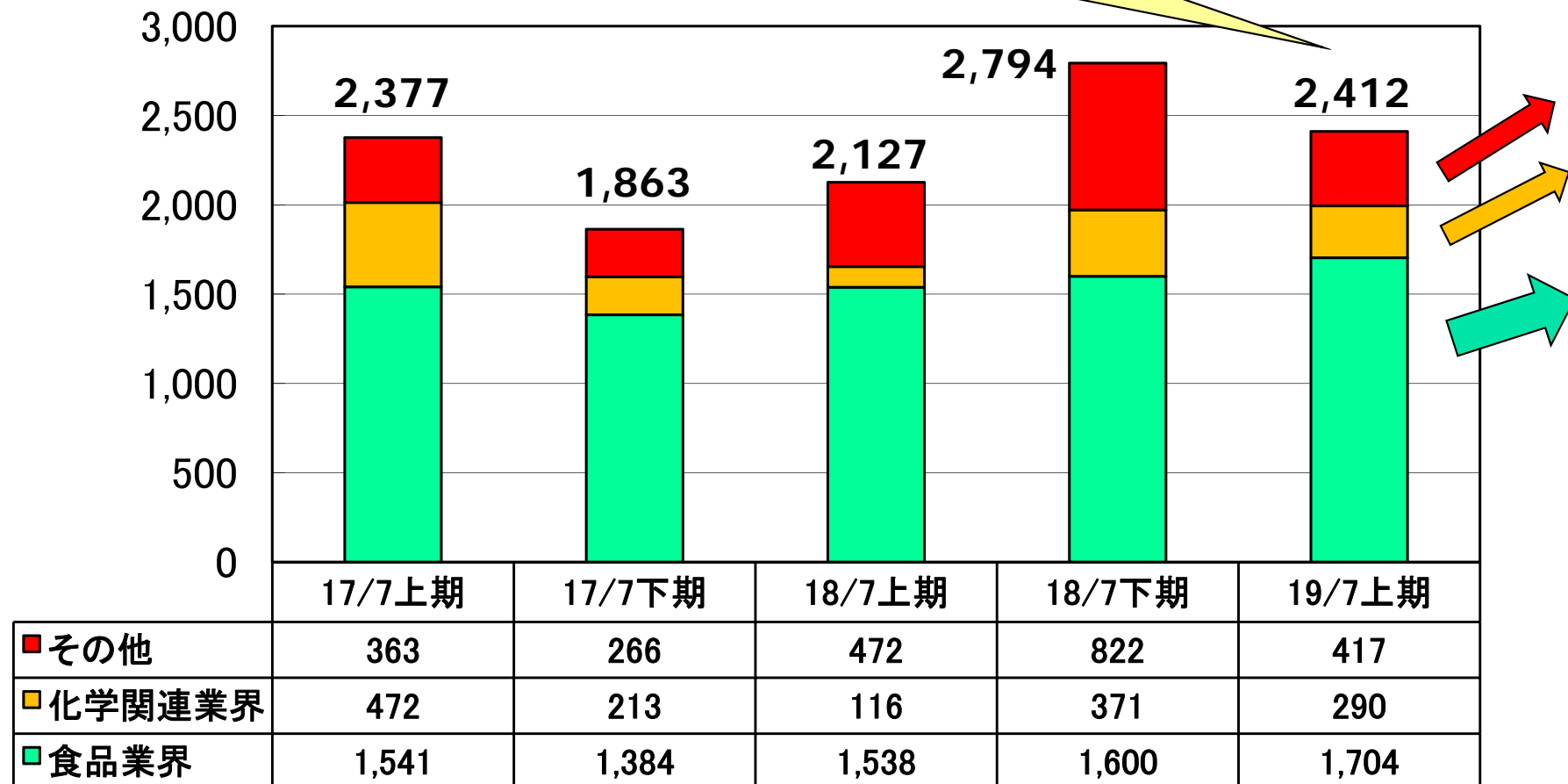
■ 自社機合計
■ 保守消耗部品

■ 包装関連機器等
● 自社機販売台数(右軸)

【包装機械】エンドユーザー業種別機械売上高

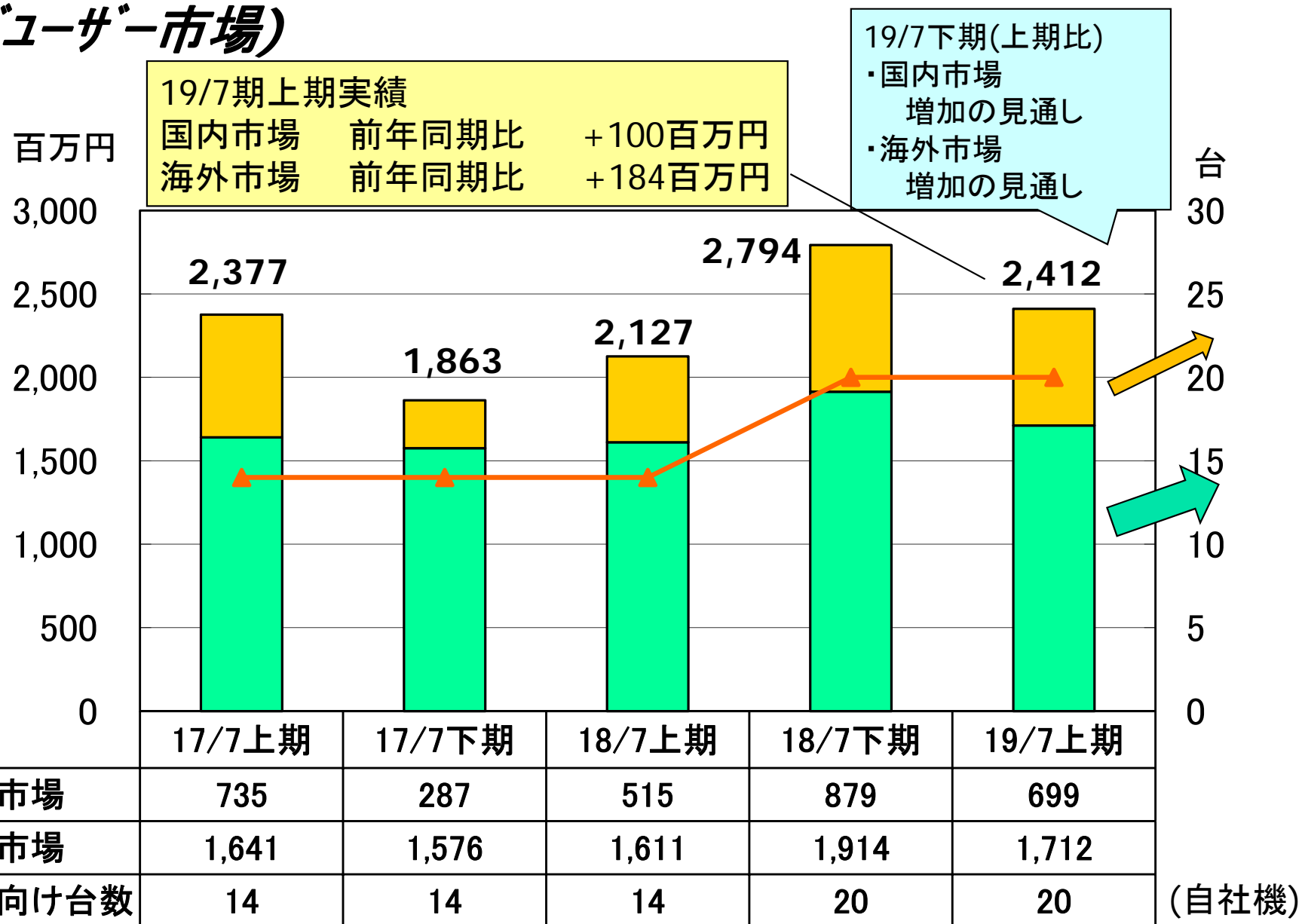
食品・化学関連業界の増加により、機械売上高は前年同期比13.4%増

百万円	<化学関連業界> 医療分野、健康食品等 <その他> ペットフード、種苗等	19/7期上期実績 食品業界 前年同期比 10.8%増 化学関連業界 前年同期比149.2%増 その他 前年同期比 11.5%減	19/7下期見通し(上期比) 全ての業界が増加 全体で上期より大幅に増加
-----	---	---	--



【包装機械】国内/海外市場別機械売上高

(エンユーザー市場)



【包装機械】海外市場 インターユーザー地域別実績

※ 自社機台数

海外納入実績(17/7期～19/7期上期)

欧州 <ポーランド・フランス・ロシア>

17/7期 1台
18/7期 2台
19/7上期 2台

アジア—ASEAN 除く
<中国・韓国・台湾・
オーストラリア含む>

17/7期 11台
18/7期 16台
19/7上期 8台

ASEAN <タイ・ベトナム・
フィリピン・インドネシア>

17/7期 13台
18/7期 11台
19/7上期 9台

北米・南米 <アメリカ・
ブラジル・アルゼンチン>

17/7期 3台
18/7期 5台
19/7上期 1台

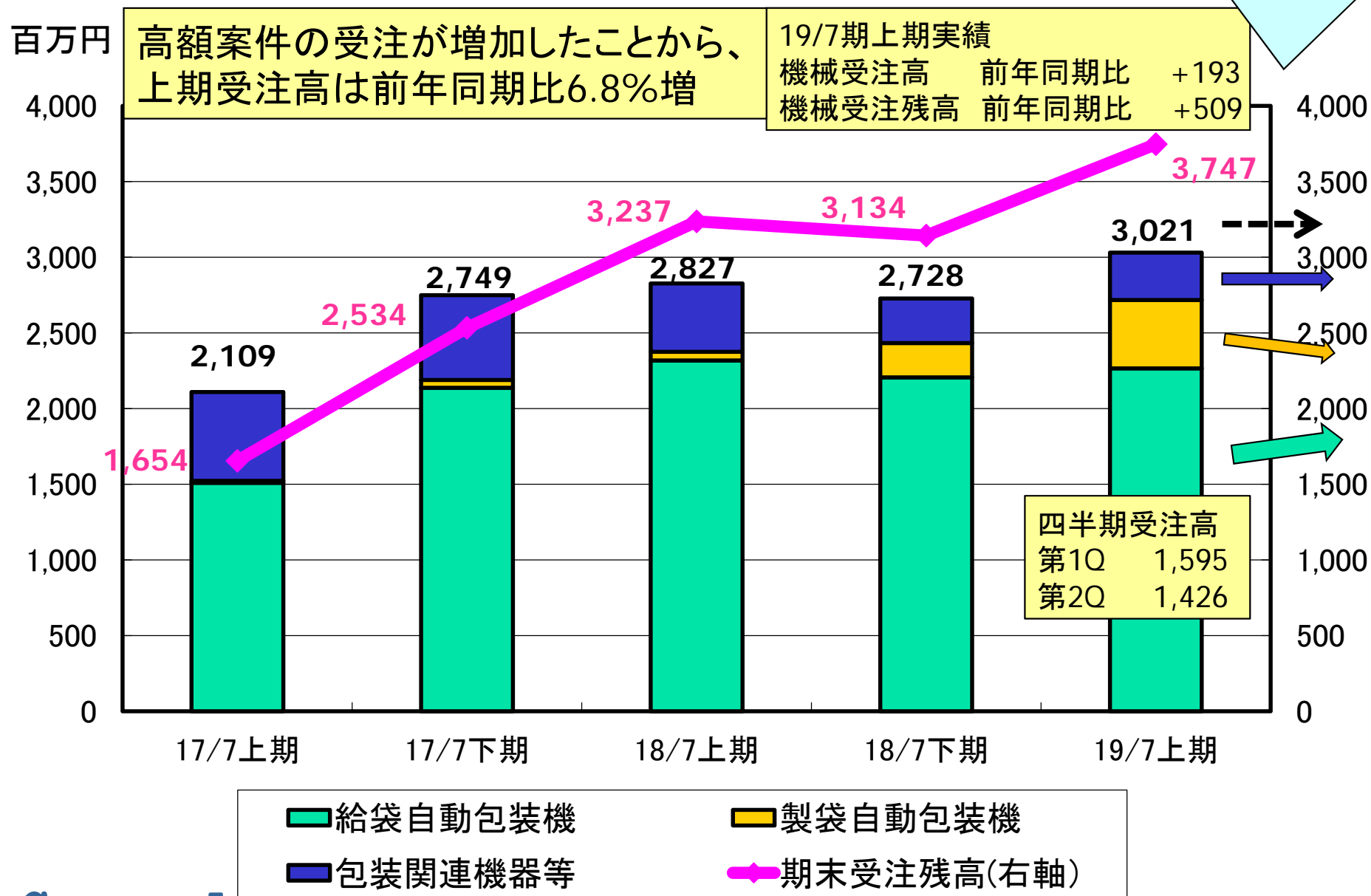
<19/7下期予定>

ロシア、アメリカ、アルゼンチン、中国、タイ、インドネシア 等

【包装機械】機械の受注動向

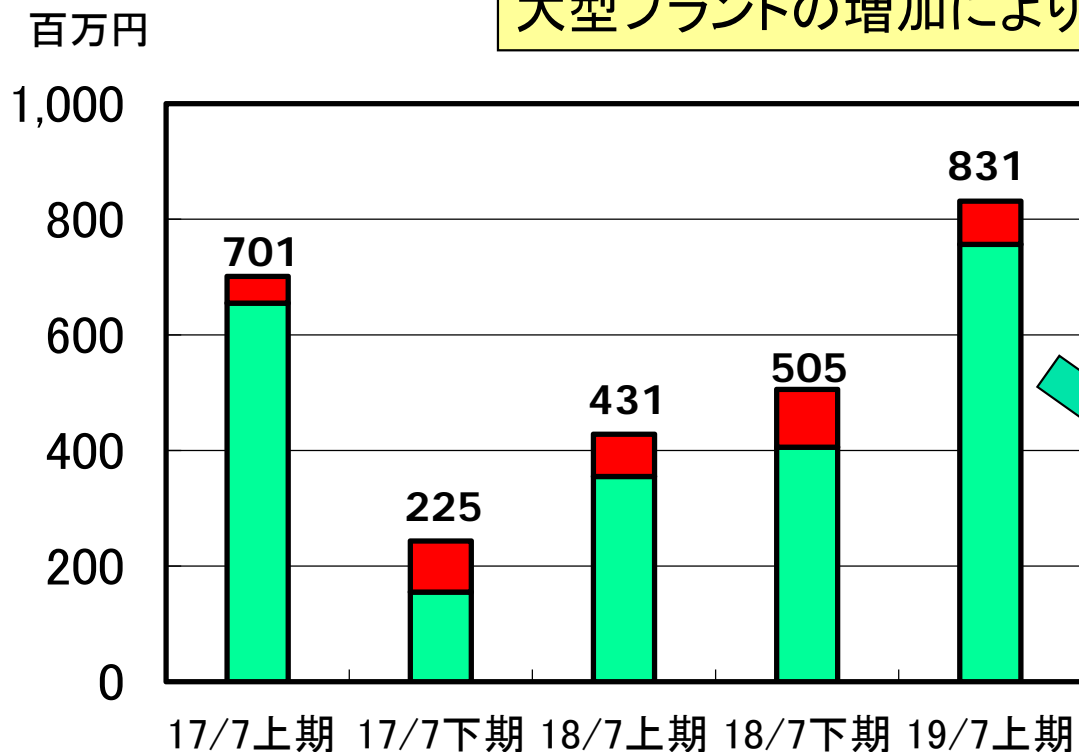
<19/7下期計画>

高額案件の増加で、高水準の受注高を目指す



【生産機械】 売上高の動向

大型プラントの増加により、売上高は前年同期比92.7%増



■ 製菓機械

■ 保守消耗部品

19/7上期実績

製菓機械 前年同期比 +398

・機械売上件数は、減少

保守消耗部品 前年同期比 +1

19/7下期(19/7上期比)
機械が減少の見通し

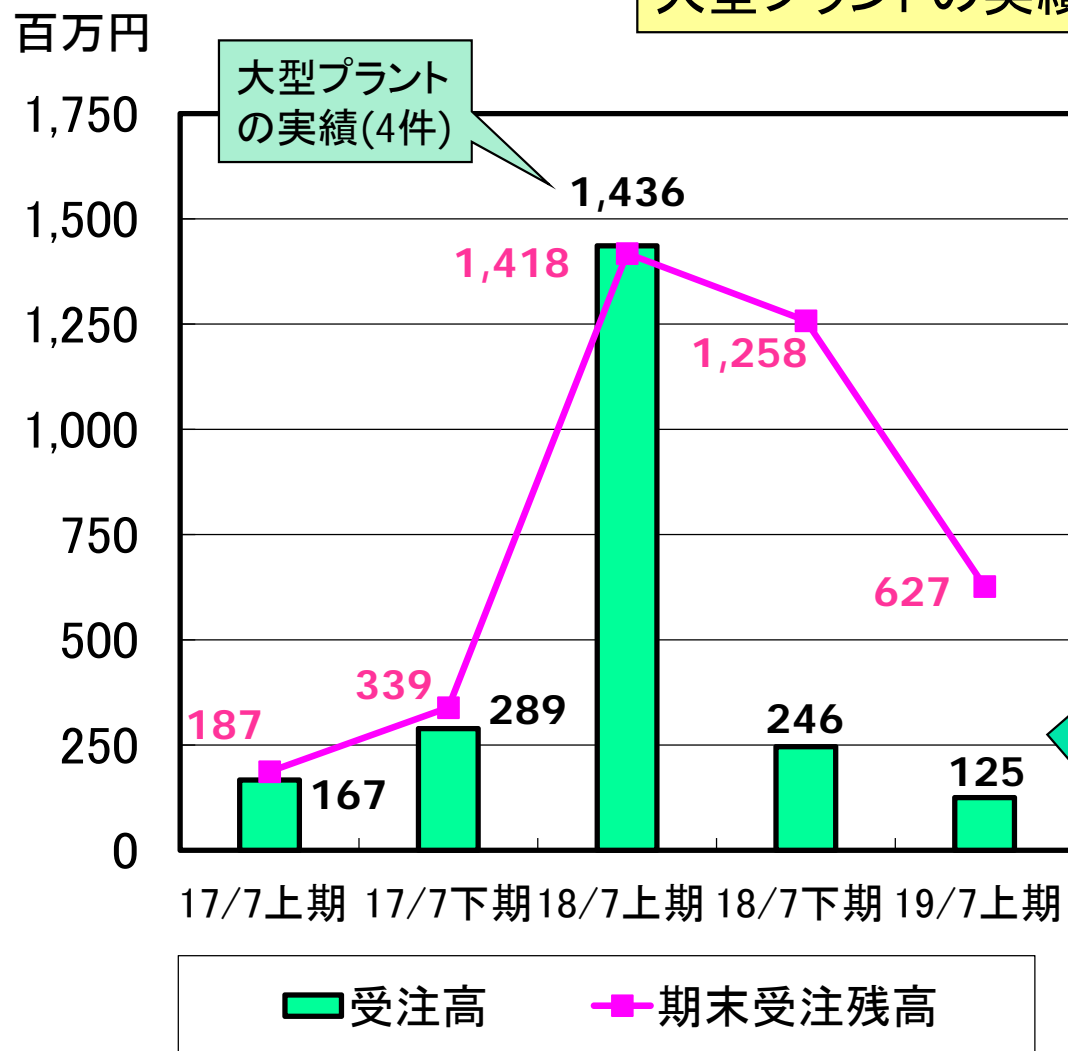
大型プラントの有無、高額案件の件数により、半期売上高は大きく変動

※17/7上期

9-1月 5ヶ月累計

【生産機械】 機械の受注動向

大型プラントの実績無により、受注高は低下



19/7上期実績

機械受注高	前年同期比	△1,311
機械受注残高	前年同期比	△790
四半期受注高		
第1Q	80	
第2Q	44	

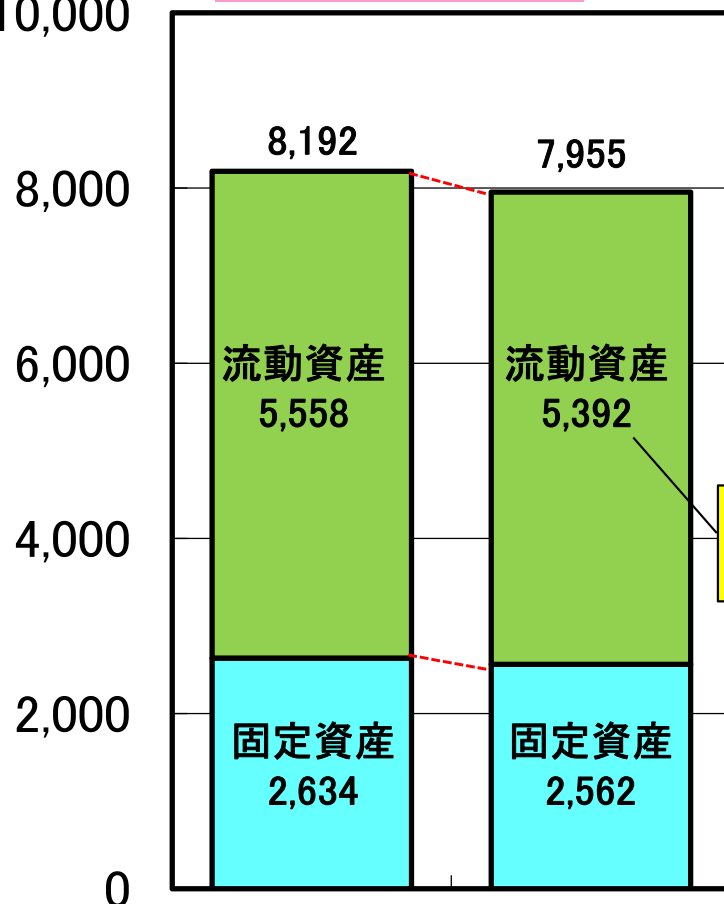
＜19/7下期計画＞
大型案件の確保で、
大幅な増加を目指す

※17/7上期
9-1月 5ヶ月累計

連結B/S 概況

百万円
10,000

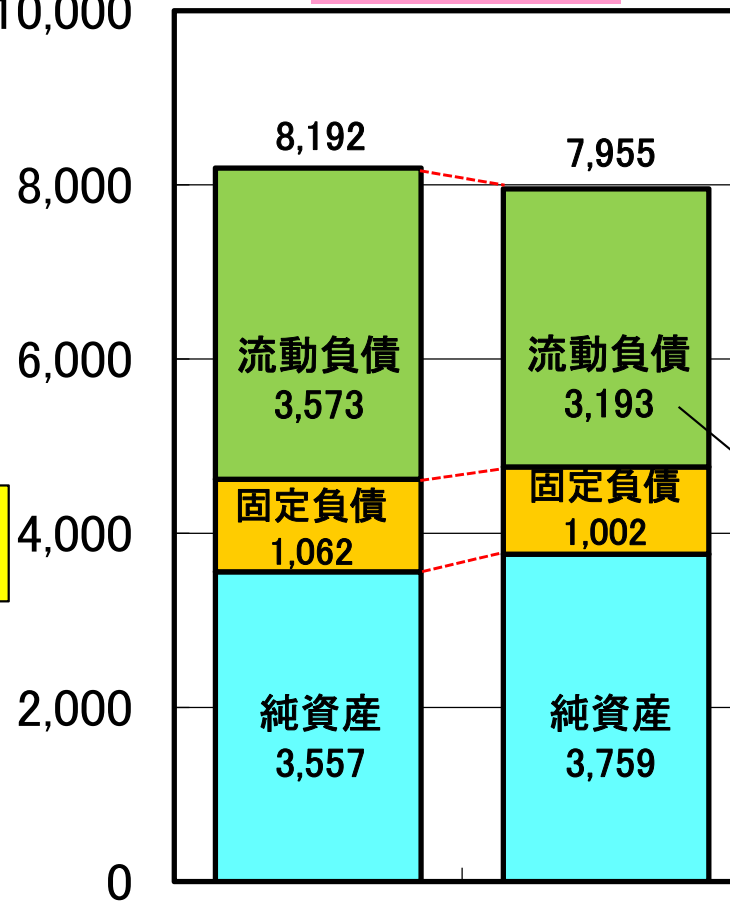
資産



現金・預金
の減少

百万円
10,000

負債純資産



前受金・
仕入債務の
減少

18/7期末

19/7期
第2Q末

18/7期末

19/7期
第2Q末

自己資本比率; 43.4% 47.3%

Ⅳ. 2019年7月期 通期業績見通し

2019年7月期連結業績予想

最高益の見込み

(単位:百万円、%)

	2018年7月期		2019年7月期 ※		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
売上高	7,098	100.0	8,300	100.0	+1,201	+16.9
売上総利益	1,807	25.5	2,073	25.0	+265	+14.7
営業利益	372	5.2	596	7.2	+224	+60.2
経常利益	376	5.3	600	7.2	+223	+59.3
当期純利益	260	3.7	420	5.1	+159	+61.3

※2019年7月期予想は、期初予想から上方修正しています。(2019年3月4日公表)

増収・増益

- 売上高は前期比16.9%増の83億円を見込む
- 売上総利益率は、前期比0.5ポイント低下し25.0%
- 営業利益率は、前期比2ポイント改善し7.2%
- 経常利益は、前期比223百万円増の600百万円を計画
- 当期純利益は、前期比159百万円増

期初予想比;修正額

売上高 +1,100百万円
 営業利益 +197百万円
 経常利益 +200百万円
 当期純利益 +150百万円

2019年7月期セグメント別業績予想

(単位:百万円、%)

	2018年7月期		2019年7月期 ※2		前期比	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	率
売上高	7,098		8,300		+1,201	+16.9
包装機械	6,163		7,100		+936	+15.2
生産機械	936		1,200		+263	+28.1
※1 調整額	△2	—	—	—	+2	—
営業利益	372	5.2	596	7.2	+224	+60.2
包装機械	354	5.8	570	8.0	+215	+60.6
生産機械	16	1.8	25	2.1	+9	+54.4
※1 調整額	0	—	0	—	0	—

※1 調整額;セグメント間取引の調整

※2 2019年7月期予想は、2019年3月4日公表の業績予想修正時の数値です。

【包装機械】 増収・増益、利益率は前期比2.2ポイント改善

【生産機械】 増収・増益、利益率は前期比0.3ポイント改善

期初予想比;修正額

【包装機械】

売上高 +900百万円

営業利益 +197百万円

【生産機械】

売上高 +200百万円

営業利益 ±0百万円

2019年7月期セグメント別売上内訳予想 (単位:百万円、%)

	2018年7月期		2019年7月期 ※		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
包装機械	6,163	86.8	7,100	85.5	+936	+15.2
給袋自動包装機	3,794	53.5	4,616	55.6	+821	+21.6
製袋自動包装機	109	1.5	594	7.1	+484	+444.5
包装関連機器等	1,017	14.3	590	7.1	△427	△42.0
保守消耗部品その他	1,242	17.5	1,300	15.7	+57	+4.6
生産機械	936	13.2	1,200	14.5	+263	+28.1
製菓機械	763	10.8	1,060	12.8	+296	+38.8
保守消耗部品その他	173	2.4	140	1.7	△33	△19.2
合計	7,098	100.0	8,300	100.0	+1,201	+16.9

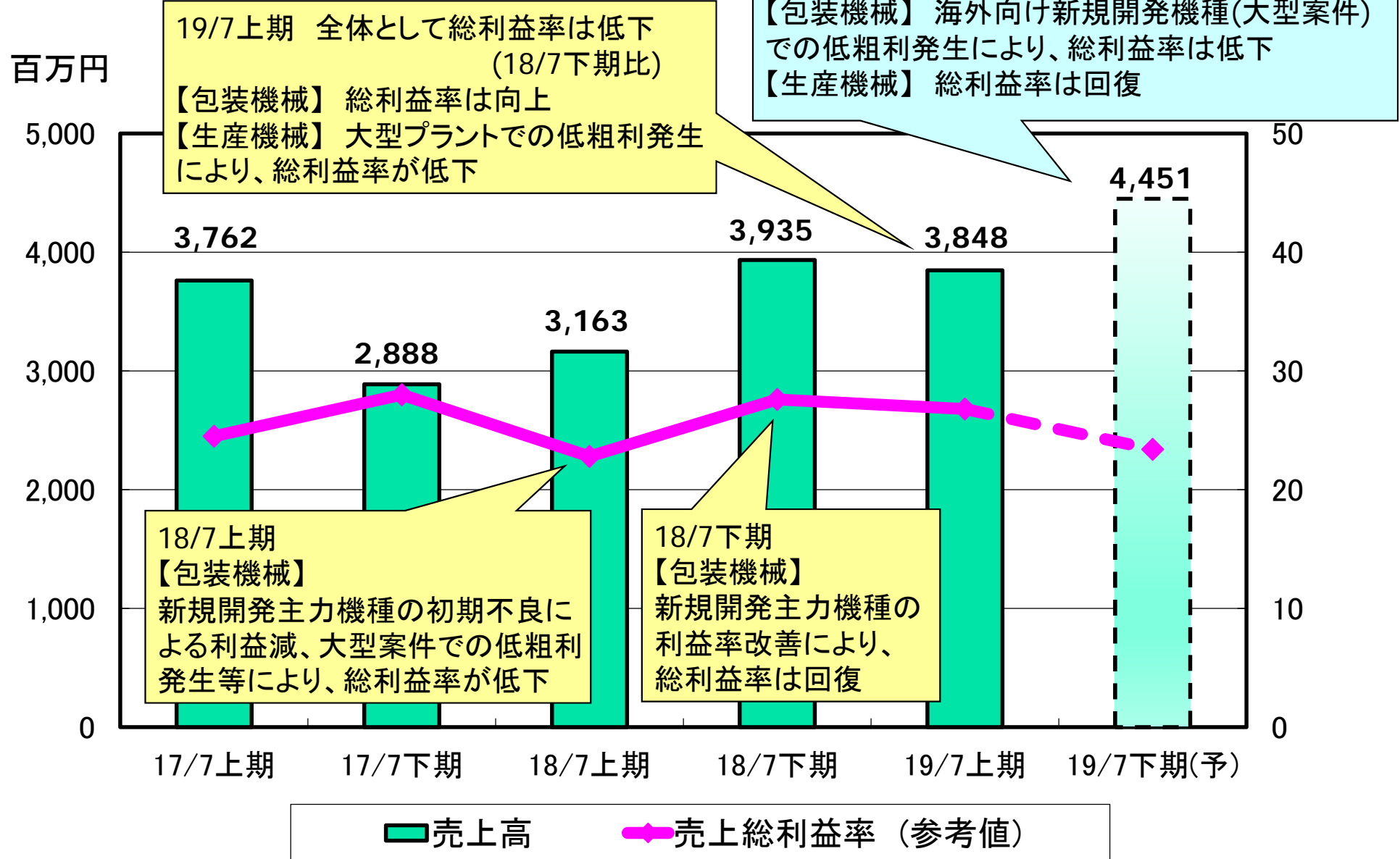
※ 2019年7月期予想は、2019年3月4日公表の業績予想修正時の数値です。

前期比 : +1,201百万円、+16.9%

【包装機械】 自動包装機の増加により、増収
 ◇包装関連機器等は、大型システムが減少
 【生産機械】 大型プラントの増加により、増収

期初予想比
 給袋自動包装機が増加
 製菓機械が増加

2019/7期下期業績予想



株主還元

中期配当政策

- 株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、連結配当性向30%または連結純資産配当率(DOE)2%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指す。

	2016/7期 (非連結)	2017/7期 (連結)	2018/7期 (連結)	2019/7期予想 (連結)
中間配当 ※	17.50円	20.00円	20.00円	25.00円
期末配当 ※	27.00円	20.00円	24.00円	25.00円
年間配当 ※	44.50円	40.00円	44.00円	50.00円
当期純利益／株 ※	130.63円	106.27円	146.87円	237.81円
配当性向	34.1%	37.6%	30.0%	21.0%
DOE	2.5%	2.1%	2.2%	2.3%

※2016年2月1日付で、5株につき1株の株式併合を実施

配当、当期純利益/株は、株式併合を考慮した数値に遡及修正しています。

IV. 中期経営計画ならびに 経営戦略の主な取組み状況

第5次中期経営計画(2018年7月期～2020年7月期)

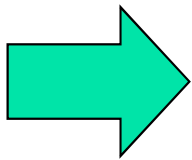
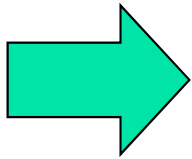
◆中期経営ビジョン

連結グループの基礎固めから成長基盤構築の時期

1. 世界に選ばれ、信頼されるGPグループ
2. オープンイノベーションで応えるソリューションカンパニー
3. 挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

◆中期数値目標

第4次中計実績

■連結経営目標	17/7期実績		20/7期目標
売上高経常利益率	4.5%		6.0%以上
ROA(総資産経常利益率)	4.3%		6.0%以上
ROE(自己資本当期純利益率)	5.6%		8.0%以上
■連結業績目標	17/7期実績		20/7期目標
売上高	6,651百万円		7,700百万円
経常利益	297百万円		475百万円
当期純利益	188百万円		320百万円

※19/7期(第2期目)で達成の見込み
20/7期目標は見直す予定

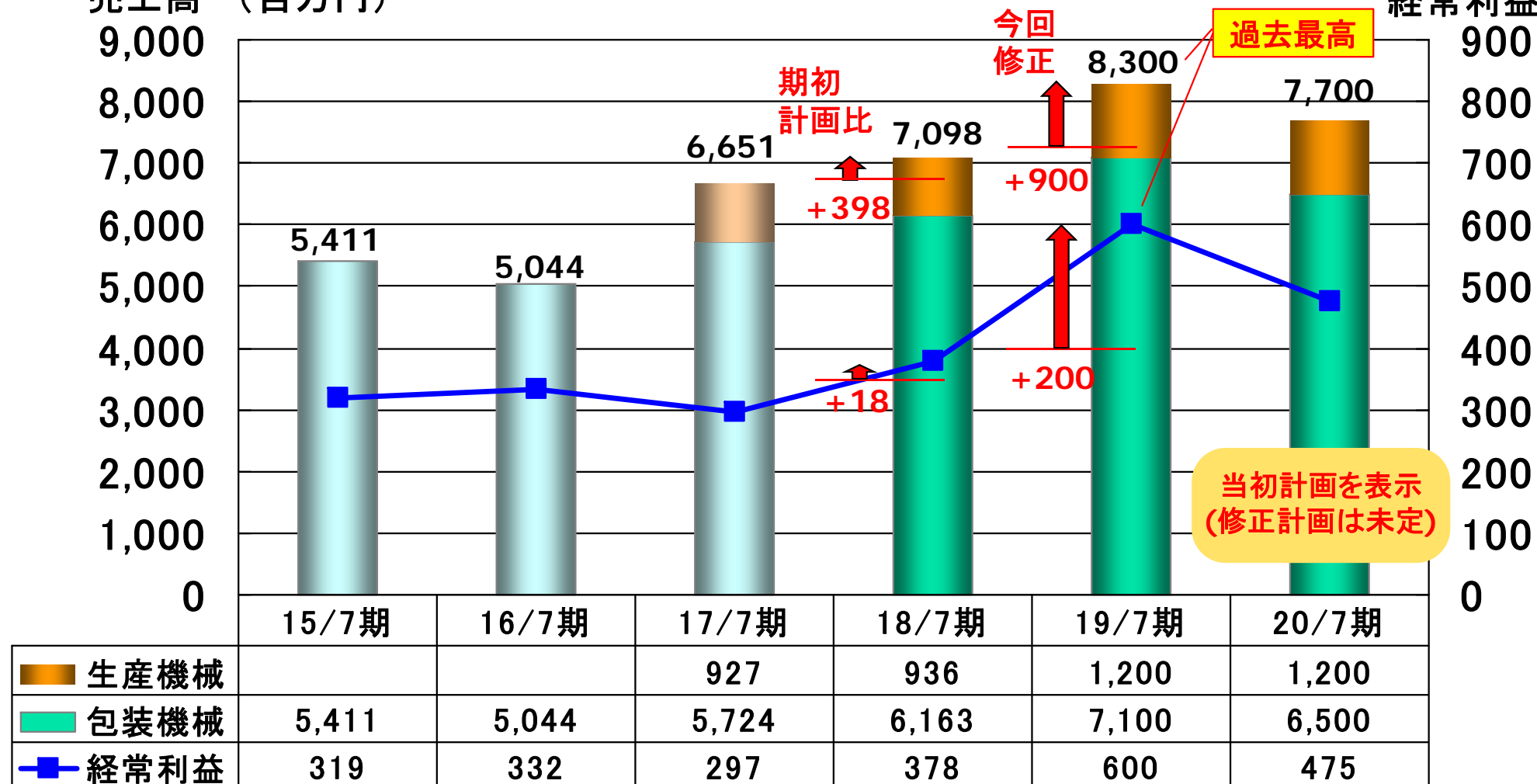
業績計画

最終期(20/7期)の数値については、今後の事業環境と受注動向を踏まえて、見直す予定

利益率の向上と収益の拡大に注力

売上高 (百万円)

経常利益



← 第5次計画 →

※2015年7月期から2016年7月期までは単体、2017年7月期以降は連結決算となっております。

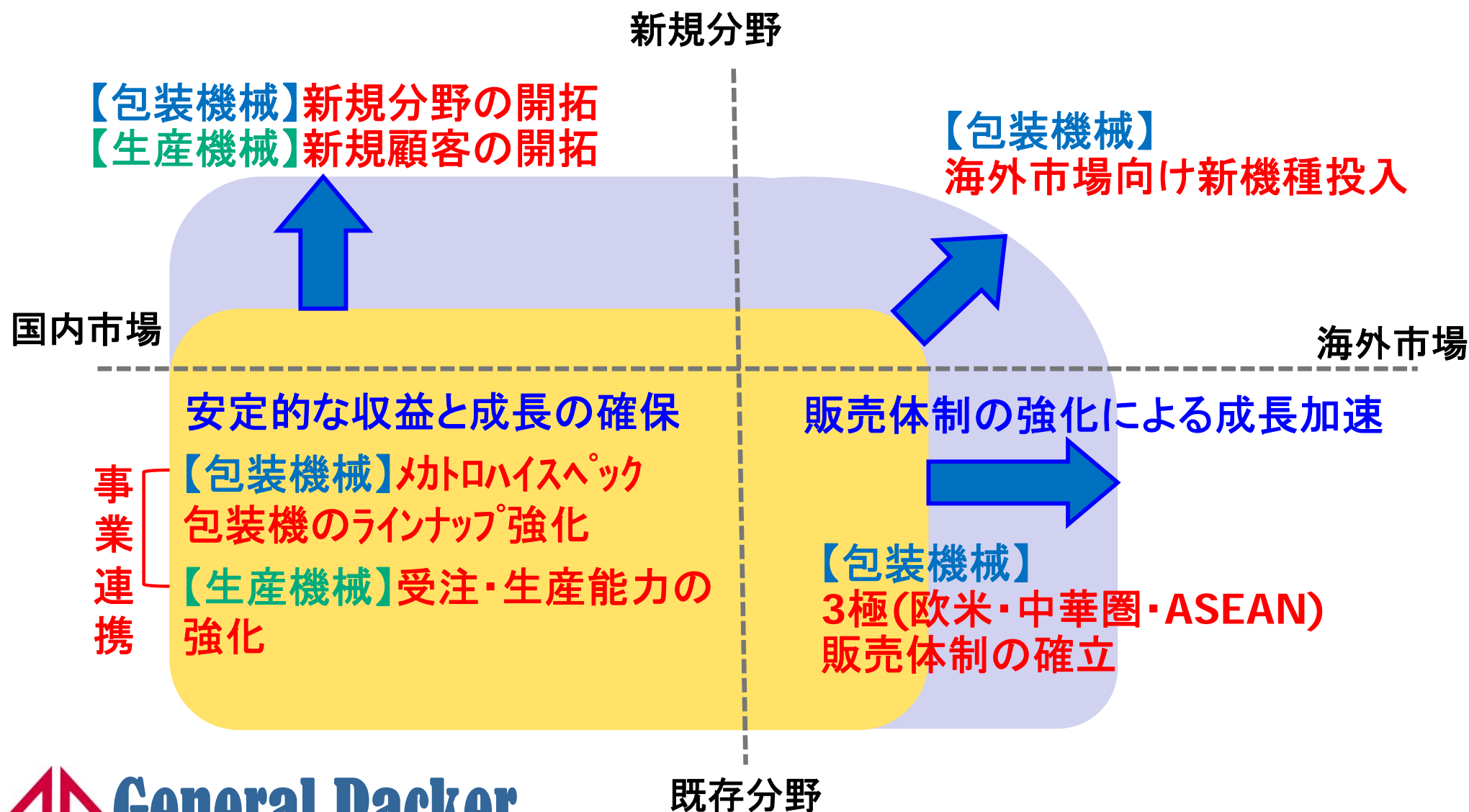
事業計画モデル(第5次中計)

当初計画を表示
(修正計画は未定)

売上高(単位:百万円)	17/7期実績	18/7期実績	19/7期予想	20/7期計画
【包装機械】	5,724	6,163 (+263)	7,100 (+900)	6,500
内;国内市場(機械)	3,218	3,526 (+426)	4,200 (+900)	3,400
内;海外市場(機械)	1,022	1,395 (Δ105)	1,600	1,800
【生産機械】	927	936 (+136)	1,200 (+200)	1,200
内;製菓機械	792	763 (+98)	1,060 (+200)	1,055
合 計	6,651	7,098 (+398) (期初計画比)	8,300 (+1,100) (今回修正額)	7,700

基本戦略

「さらなる成長に向けて海外事業の拡大を目指す」



基本戦略

- ①包装機械と生産機械の事業連携により、国内市場で安定的な収益と成長を確保する
- ②販売体制を強化し、海外市場向け売上高比率20%以上を目指す
- ③世界の包装ニーズにワンストップで応え、ソリューションビジネスのさらなる拡大を図る
- ④メカトロハイスペック包装機シリーズの商品開発を強化する
- ⑤生産機械から包装機械まで一貫したシステムとサービスの提供で、顧客満足度を得る
- ⑥開発力強化と事業領域拡大のためのアライアンスを推進する

【包装機械】販売戦略

国内市場; 安定的な収益と成長の確保

■メカトロハイスペック包装機の拡販

- ・高機能給袋自動包装機 GP-M3000型
受注は好調に推移
- ・シリーズ機種の販売 GP-M3550型 (高速充填包装)
19/7期上期 受注実績 1台

■自社包装機受注

19/7期上期 受注高 20.8億円(前年同期比 6.7億円増)
受注台数 69台(前年同期比 9台増)

下期

■包装機とシステムの
拡販を強化

ソリューションビジネスの拡大

■新規納入先の開拓

19/7期上期 受注実績3社

■高額システム(30百万円以上)の受注実績

内2件; システムの一部は、
ロボット応用システムを納入

	17/7期	18/7期	19/7期上期
受注件数	11件	6件	2件
業種	食品(9件)、化学(1件)、 医療(1件)	食品(5件) 医療(1件)	食品、ペットフード

【包装機械】販売戦略

海外事業の拡大

- 中国子会社; 蘇州日技通用包装机械有限公司 (中国・常熟市) (16/3月設立)
19/7期上期 売上高 0.5億円(前年同期比0.9億円減) ⇒ 下期は増加の見込み

▶ 下期; 上海駐在員事務所(15/1月開所)
⇒ 子会社の支店化(19/3月予定)

- 販売体制の強化

- ・ 既存代理店(6社)の販売支援
アメリカ代理店 受注台数増加

▶ 下期; 中国代理店1社追加(19/2月)
新規代理店の開拓(インド等)
アメリカ市場の開拓強化

- 自社包装機受注 (単体)

19/7期上期 受注高 5.7億円(前年同期比 3.3億円減)
受注台数 14台(前年同期比 3台減)

大型案件の減少
(複数台数一括等)

- 新規顧客開拓の受注実績 (エンユーザー)

17/7期	18/7期	19/7期上期
11社 タイ、ベトナム、中国、 オーストラリア、アメリカ、韓国	13社 タイ、台湾、中国、ベトナム、 インドネシア、アメリカ	5社 タイ、中国、アルゼンチン、 アメリカ

【包装機械】開発・技術戦略

■開発テーマ <第5次中計>

- ①メカトロハイスpek包装機と海外市場向け新機種の開発
- ②コア技術の強化
- ③特定ユーザー・業種のニーズに対応した新機種の開発 等

■新機種開発

メカトロハイスpek包装機のシリーズ開発

GP-M3000型(UL仕様;アメリカ規格) ⇒アメリカ展示会(シカゴパック;18/10月)へ出品

業種ニーズに対応した新機種の開発

小袋用新機種の開発	19/7期下期完成予定
2連高速新機種の開発	20/7期完成予定

【生産機械】

受注体制と新規顧客開拓の強化

■ 受注活動

- ・大型プラントの受注
19/7期上期 0件(前年同期4件)



下期;大型プラントの受注確保
受注残大型プラントの製造、納入

■ 包装機械との事業連携

- ・親会社からの営業、技術支援
営業1名・技術2名の派遣
- ・親会社営業と情報共有、同行訪問



下期;受注活動強化
販売促進活動
(展示会出展等)

■ 新規開拓

19/7期上期 受注実績 2件(機械、機器)



展示会へ出展(19/2月)
モバックショウ
(国際製パン製菓関連産業展)

内部管理体制の強化

■ 人材確保・育成 等

V. 参考資料

包装機械業界

単位:億円

機種別	生産高
個装・内装機械	3,728
包装用計量機	273
充てん機	406
びん詰機械	590
製袋充てん機	752
真空包装機	111
その他	1,596
外装・荷造機械	730
ケース詰機	210
その他	520
合 計	4,458

主な上場企業
 専業メーカー:東京自動機械製作所
 兼業メーカー:CKD、渋谷工業 等

需要先別構成比
 ・食品部門 55.5%
 ・化学部門 14.8%
 ・その他 17.9%
 ・輸出 11.8%

袋詰用包装機

当社の主力包装機の区分

前年度比
 3.8%増
 8年連続増

(一社)日本包装機械工業会
 「包装機械及び荷造機械生産高統計」
 2017年度実績

当社:包装機械の専業メーカー
 ■ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の包装機械・システムに特化
 ◇高品質・高難易度の包装分野
 ◇チャック付袋包装、ガス充填包装等

主な競合先(ロータリー式包装機メーカー)
 ・東洋自動機(非上場):レトルト物の包装が主力
 ※ナブテスコ連結子会社
 ・古川製作所(非上場):ウェット物・真空の包装が主力

食品機械業界

単位:億円

機種別	販売額
精米麦機械	144
製粉機器	130
製めん機械	107
製パン・製菓機械	1,418
醸造用機械	166
乳製品加工機	653
飲料加工機械	240
肉類加工機械	260
水産加工機械	173
その他食品機械	2,468
合 計	5,761

主な上場企業
 兼業メーカー:レオン自動機、
 鈴茂器工 等

・輸出 6.9%

製菓機械

オサ機械(子会社)
 の区分

前年比
 10.5%増
 6年連続増

(一社)日本食品機械工業会
 「食品機械統計」
 2017年実績

オサ機械:チョコレート製造機械の専門メーカー
 ■創業以来80年以上、蓄積された豊富な経験
 ◇チョコレート製造全般
 ◇国内で高いシェアを占める

主な競合先
 ・谷沢菓機工業(非上場)
 チョコレート製造機械、餅・和菓子製造機械、
 米菓機械

会社概要(2019年1月31日現在)

■設立 1966年(創業 1961年)

■資本金 251百万円

■発行済株式数 1,798,800株

■売買単位 100株

■決算期 7月末

証券コード;6267

東証JASDAQ・名証二部

■事業内容 各種自動包装機及び周辺装置の製造・販売
製菓機械の製造・販売

■従業員数 単体;149名(その他臨時雇用者26名)
連結;177名(その他臨時雇用者38名)

■事業所 本社・工場、東京営業部、上海事務所

■子会社 オサ機械、蘇州日技通用包装機械

■役員 取締役 5名
社外取締役(監査等委員) 4名

■企業ビジョン

「社会・株主・顧客・取引先・従業員の全てに対し、誠実で透明性の高い経営を実践し、信頼され、支援される企業」の実現

事業内容

国内市場

海外市場

主要市場:ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の
包装用機械・システム

主要ユーザー

食品業界

化学関連業界

その他

製粉

製麺

精米

製氷

食品全般

健康食品

医療用品

ペットフード

製パン

製菓

削節

製茶

コーヒー

洗剤

種苗

食品業界の各大手上位への
顧客基盤が強い

チョコレート製造機械分野
国内で高いシェアを持つ

高品質・高難易度の包装分野
・チャック付袋包装
・ガス充填包装等

販売経路

直販

窓口

業界上位が中心

特定顧客・業種、中堅・中小等

機器から
プラントまで

販売

直販が中心

生産機械

個別受注生産

チョコレート製造機械

製菓機械等

開発・設計・製造

仕入

包装機械

販売

袋詰用包装機から包装システムまで

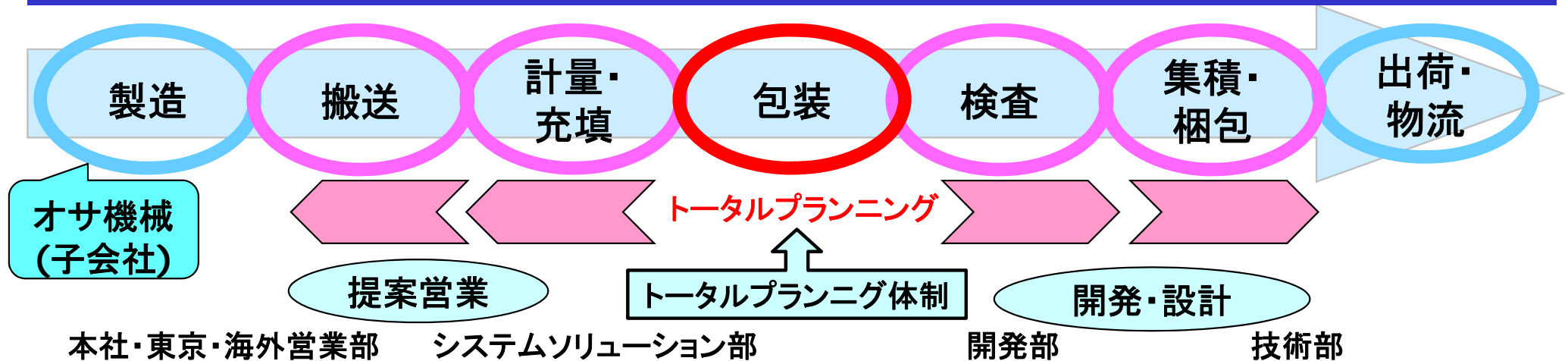
給袋自動包装機(ガス充填自動包装機含む)

製袋自動包装機

包装関連機器等

(経営ビジョン)

オープンイノベーションで応えるソリューションカンパニー



挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

人員推移(単体)

	14/7期末	15/7期末	16/7期末	17/7期末	18/7期末	19/1期末
従業員	127	131	135	139	147	149
(内 開発・技術部人員)	(40)	(42)	(42)	(43)	(44)	(46)
臨時雇用者※	16	19	18	23	26	26
合計	143	150	153	162	173	175
※パート、嘱託、派遣				193	212	215
連結人員合計(臨時雇用者含む)				193	212	215

包装システムの市場創造型トータルプランナー ゼネラルパッカー株式会社

当資料取り扱い上の注意点

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

【IR窓口】 経営企画室

〒481-8601

愛知県北名古屋市宇福寺神明65

電話: 0568-23-3111

FAX: 0568-22-3222

E-mail: info@general-packer.co.jp

